

第 1 少年非行の概況

1 概況

- 令和 6 年中に岐阜県警察が検挙・補導した非行少年の数は574人で、前年に比べ134人（30.5%）増加した。
 - ・ 刑法犯少年は499人で、前年に比べ149人（42.6%）増加した。
 - ・ 特別法犯少年は71人で、前年に比べ17人（19.3%）減少した。
 - ・ ぐ犯少年は 4 人で、前年に比べ 2 人（100.0%）増加した。
- 令和 6 年中に岐阜県警察が補導した不良行為少年は10,374人で、前年に比べ556人（5.7%）増加した。

非行少年及び不良行為少年の検挙・補導状況

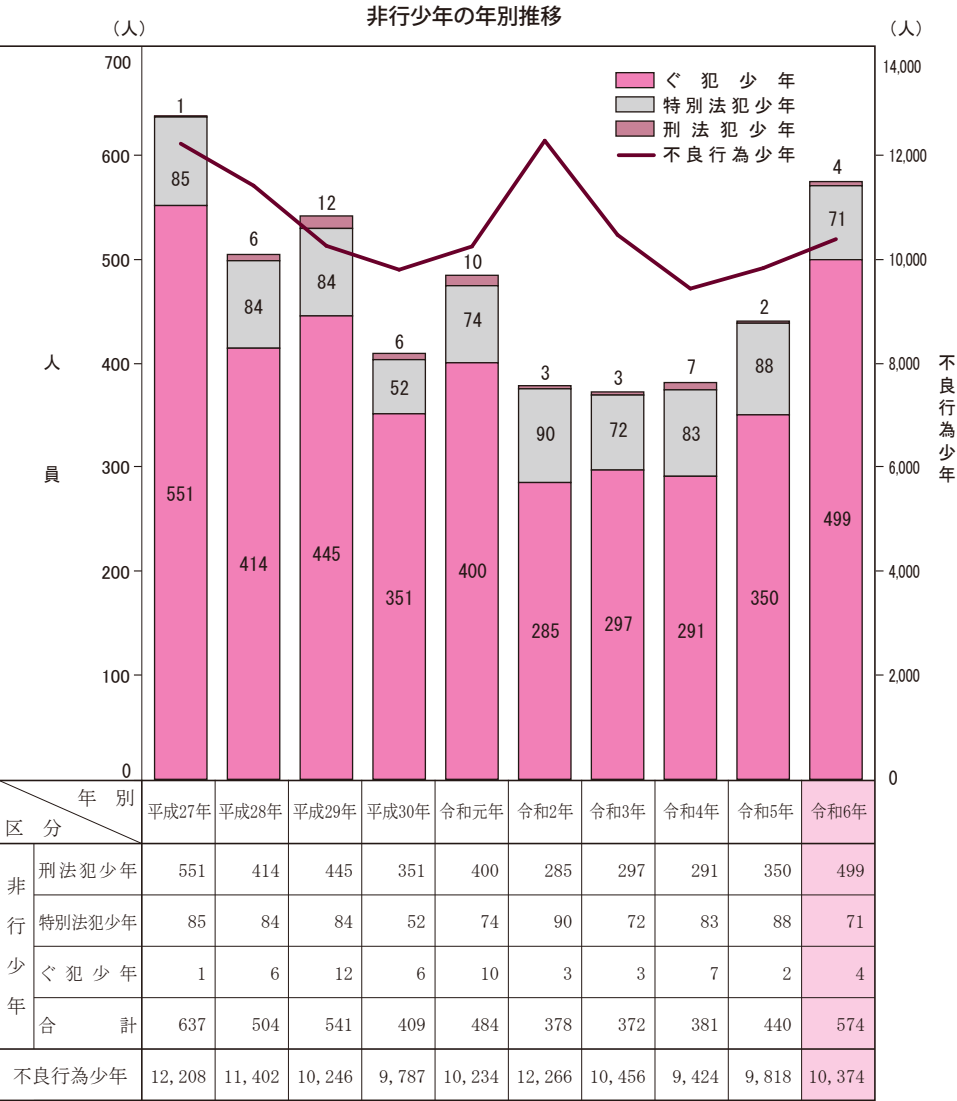
(人)

区分			令和 6 年	令和 5 年	前 年 対 比 (増 減)	
					人 員	比 率 (%)
非 行 少 年	刑 法 犯 少 年	犯 罪 少 年	374	271	103	38.0
		触 法 少 年	125	79	46	58.2
		小 計	499	350	149	42.6
	特 別 法 犯 少 年	犯 罪 少 年	61	83	▲ 22	▲ 26.5
		触 法 少 年	10	5	5	100.0
		小 計	71	88	▲ 17	▲ 19.3
	ぐ 犯 少 年		4	2	2	100.0
	合 計		574	440	134	30.5
	不良行為少年		10,374	9,818	556	5.7

(注) ▲印は、減少を示す。

2 非行少年の年別推移(過去10年)

○ 平成27年から比較すると、非行少年の検挙・補導人員は2番目に多く、令和3年以降増加している。



3 特徴的傾向

(1) 刑法犯少年

- 刑法犯少年は499人で、前年に比べ149人（42.6%）増加。
- 成人を含めた全凶悪犯中に占める少年の割合は12.3%（9人）、全粗暴犯中に占める少年の割合は8.2%（78人）、全窃盗犯中に占める少年の割合は19.1%（287人）。
- 触法少年の補導人員は125人で、前年比46人（58.2%）増加。
- 凶悪犯以外のすべての罪種で増加。
- 刑法犯少年の57.5%が窃盗犯。
- 初発型非行（万引き、自転車盗、オートバイ盗、占有離脱物横領）での検挙・補導人員は254人と、前年に比べ77人増加し、刑法犯少年の50.9%を占めている。
- 学職別では中学・高校生が57.1%を占める一方、小学生は66人（13.2%）を占め、9年連続で10%を超えた。

(2) 特別法犯少年

- 特別法犯少年は71人で、前年より17人（19.3%）減少。
- 薬物乱用少年は12人で、大麻事犯で6人を検挙・補導。

(3) ぐ犯少年

- ぐ犯少年として通告・送致した少年は4人で、前年より2人（100.0%）増加。

(4) 不良行為少年

- 不良行為少年として補導した少年は10,374人で、前年に比べ556人（5.7%）増加。
- 行為種別の補導人員は、深夜はいかいが4,363人（42.1%）、次いで喫煙が4,117人（39.7%）であり、両行為で全体の81.7%を占めている。